

東海地方の天候（令和5年7月）

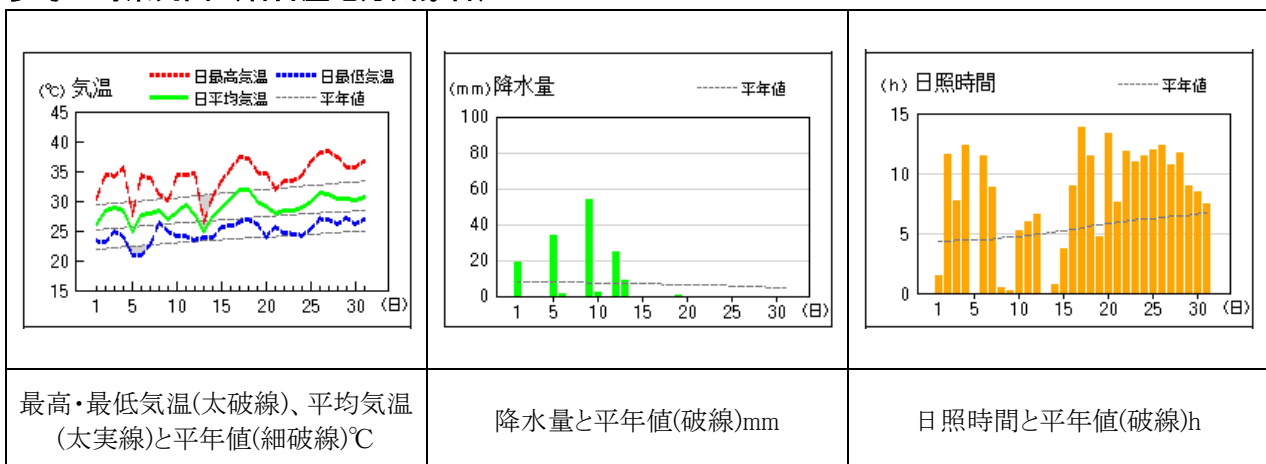
1 概況

月の前半は、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所がありました。後半は、次第に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。月降水量は少なく、月間日照時間はかなり多くなりました。月を通して暖かい空気に覆われた日が多かったため、月平均気温はかなり高くなりました。また、上空に寒気が流入し大気の状態が非常に不安定となり所々で雷雨となった日があり、突風による被害が発生した所もありました。なお、東海地方は20日ごろに梅雨明け（速報値）したとみられます。

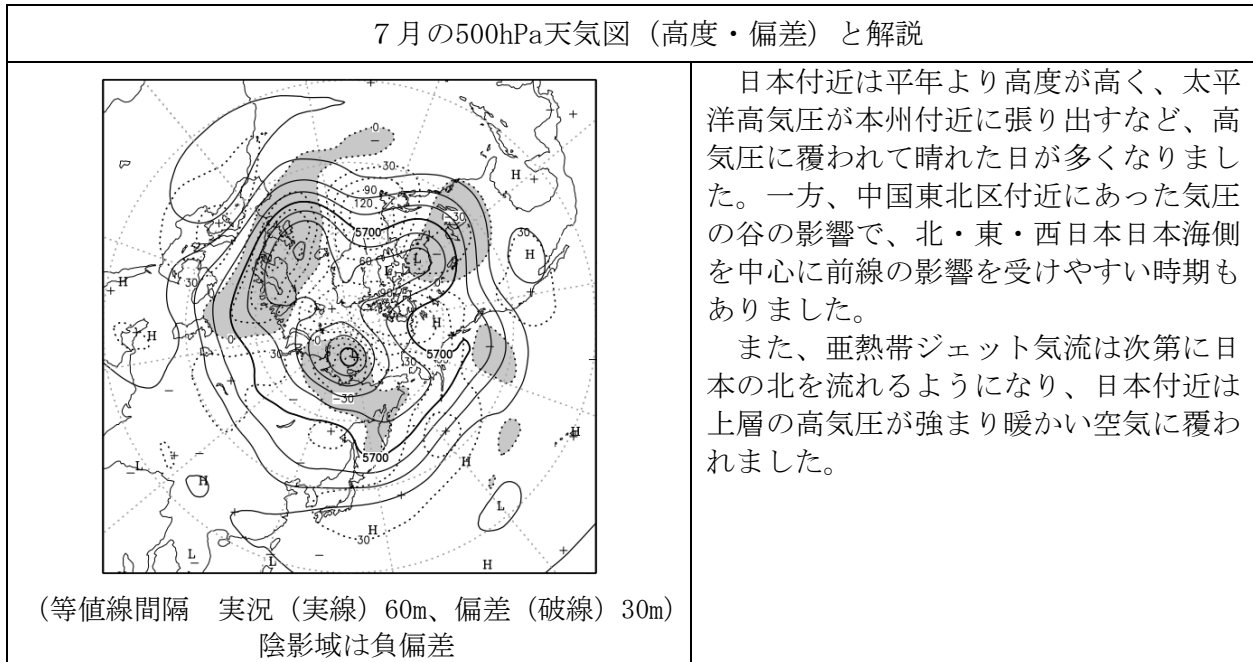
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	高気圧に覆われて晴れた日がありましたが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所がありました。暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は高くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。
中旬	旬の前半を中心に梅雨前線や湿った空気の影響を受けて、曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、旬降水量は少なく、旬間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われたため、旬平均気温はかなり高くなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。
下旬	高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、旬降水量はかなり少なく、旬間日照時間はかなり多く、1961年の統計開始以降、7月下旬として第1位となりました。また、旬の中頃からは暖かい空気に覆われたため、旬平均気温はかなり高くなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「かなり少ない」、日照時間は「かなり多い」となりました。

参考 時系列図（名古屋地方気象台）



2 大気の流れの特徴



日本付近は平年より高度が高く、太平洋高気圧が本州付近に張り出すなど、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。一方、中国東北付近にあった気圧の谷の影響で、北・東・西日本日本海側を中心に前線の影響を受けやすい時期もありました。

また、亜熱帯ジェット気流は次第に日本の北を流れるようになり、日本付近は上層の高気圧が強まり暖かい空気に覆われました。

3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)	階級	降水量(平年比)	階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	階級
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
静岡	28.0 (+1.9)	+*	129.0 (43)	-	7	258.5 (164)	+*
浜松	27.7 (+1.4)	+	146.5 (70)	○	7	261.0 (148)	+*
御前崎	26.5 (+1.5)	+	77.0 (35)	-	6	267.9 (143)	+*
三島	27.7 (+1.7)	+*	140.0 (63)	○	5	223.8 (149)	+*
石廊崎	25.9 (+1.4)	+	52.0 (26)	-	4	235.3 (139)	+*
網代	27.3 (+2.1)	+*	93.0 (38)	-	6	254.6 (157)	+*
名古屋	28.9 (+2.0)	+*	144.0 (68)	-	7	241.5 (145)	+*
伊良湖	27.6 (+1.5)	+	71.5 (45)	-	6	273.6 (141)	+*
岐阜	28.8 (+1.8)	+*	179.0 (66)	-	9	239.3 (144)	+*
高山	24.8 (+1.3)	+	226.5 (87)	○	12	191.9 (131)	+
津	28.7 (+1.9)	+*	80.5 (46)	-	7	268.6 (149)	+*
上野	27.6 (+1.8)	+*	103.5 (53)	-	8	222.7 (143)	+*
尾鷲	27.7 (+1.9)	+*	93.0 (23)	-*	3)	242.7 (153)	+*
四日市	27.4 (+1.8)	+*	156.5 (75)	○	7	253.6 (156)	+*
東海地方	---- (+1.7)	+*	----- (53)	-	--	----- (147)	+*

- 注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。
 2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。
 +: 高い (多い) ○: 平年並 -: 低い (少ない)
 各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が10個ずつになる) ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に* を付加した。この場合には以下のように表現できる。
 かなり高い (多い) かなり低い (少ない)
 3. 値の横に) や] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値 (準正常値) は通常のものと同様に扱うことができる。] 付きの値 (資料不足値) については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4 令和5年（2023年）7月の順位更新表

※ 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	尾鷲	27.7	+1.9	27.6（2004）	1939	25.8
	網代	27.3 =	+2.1	27.3（2018）	1937	25.2
2	名古屋	28.9 =	+2.0	29.3（2018）	1890	26.9
	上野	27.6	+1.8	28.0（2018）	1937	25.8
	津	28.7 =	+1.9	28.8（1994）	1889	26.8
	静岡	28.0	+1.9	28.1（2018）	1940	26.1
3	三島	27.7	+1.7	28.2（2018）	1930	26.0
	四日市	27.4	+1.8	28.0（1994）	1966	25.6

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h（西暦年）	開始年	平年値 h
1	静岡	258.5	164	257.4（1947）	1940	157.9
2	伊良湖	273.6	141	282.7（1978）	1947	194.4
	四日市	253.6	156	262.5（1978）	1966	162.4
3	尾鷲	242.7	153	266.3（1942）	1939	158.6
	網代	254.6	157	269.0（2001）	1937	161.8

参考資料 平年並の範囲（東海地方）

7月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.7 ~ +1.0℃	61 ~ 117%	67 ~ 134%
中旬	-0.6 ~ +0.8℃	47 ~ 129%	74 ~ 120%
下旬	-0.6 ~ +0.7℃	61 ~ 111%	89 ~ 118%
月	-0.3 ~ +0.6℃	76 ~ 109%	94 ~ 114%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。